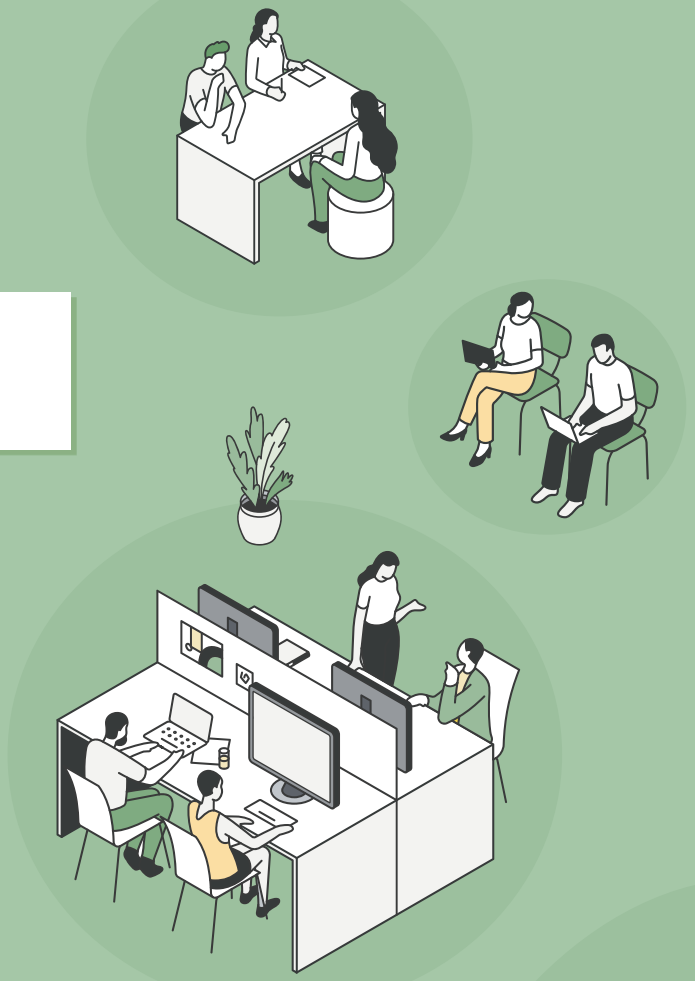
オフィスコミュニケーション

課題解決策事例集



PLUS Furniture Company

目次

P2
はじめに

P3
どうして今オフィスに
コミュニケーションが必要なのか

P4-6
課題解決策事例集

P7
最後に

はじめに

「コロナがきっかけで、オフィスでの
コミュニケーションが希薄になってしまった、リモートワークと
出社の併用により、コミュニケーションが取りづらい」、
そのような悩みはありませんか？

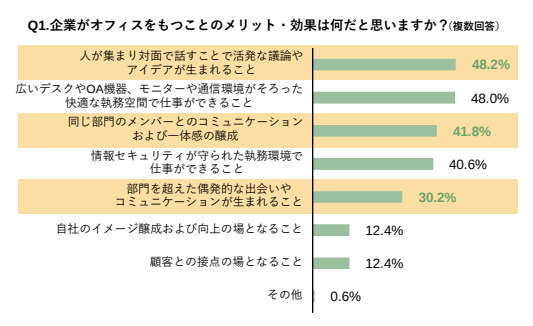
「人と出会うこと」や「リアルコミュニケーション」が
オフィスの真の価値であるという認識は広がっているものの、
現状の環境がそのニーズに追いついておらず、
その場所と機会がないことが大きな課題となっています。

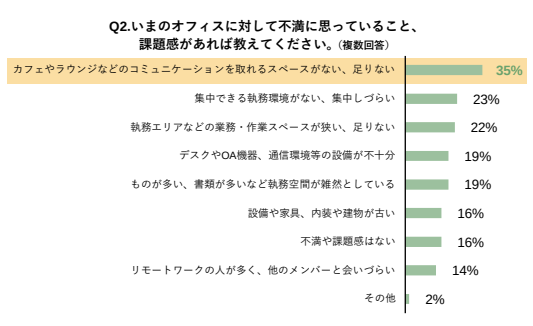
今回の資料では「コミュニケーションの課題」に焦点を当て、
普段課題と感じられてるスペースや、
コミュニケーションの機会創出へのアプローチ方法をまとめました。

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

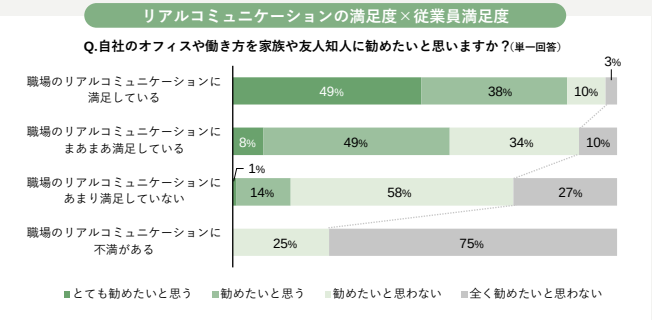
どうして今オフィスにコミュニケーションが必要なのか

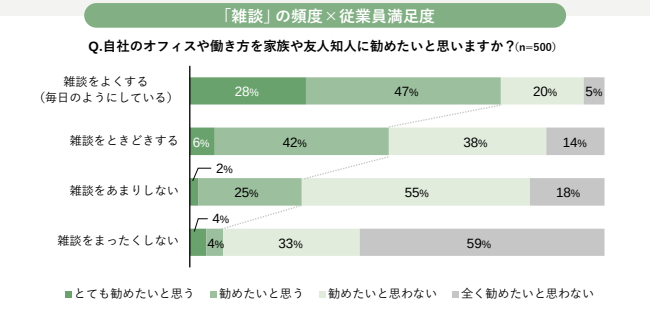
コロナを経て、働き方が多様化になった今、オフィスコミュニケーションに課題を感じている企業は少なくありません。企業がオフィスを持つことに関してのメリットについてお聞きしたところ、半数近くがコミュニケーションや人とのコラボレーションにメリットがあると答えている一方で、今のオフィスで不満に思っていることをお聞きしたところ、**コミュニケーションをとれるスペースが少ない**ということが一番多い結果になりました。
この結果から、**オフィスはコミュニケーションや従業員同士の一体感を高め合える場所であり、一体感を高めたいと思っていても、その関係性を築ける場所がないことが課題**と感じる人が多いことが分かります。





また、実際にオフィスコミュニケーションをとれている人の方が、自社のオフィスや働き方に対しての満足度が高く、逆にコミュニケーションが低ければ低いほど、従業員満足度も低いという結果も出ています。
そのため、**雑談やコミュニケーションはエンゲージメントと深く関わっている**ことが分かります。





上記の結果から

> **オフィスでのリアルコミュニケーションを求めているが、**
> **その場所と機会がない**

> **しかし、コミュニケーションに対して満足度が高いほど、**
> **エンゲージメントも高くなる。**

これらのことが、現在オフィスにコミュニケーションが必要な理由となっています。
では、実際にどのようにオフィスにコミュニケーションを促進させるようなスペースや工夫をすればいいのか。ここから課題解決策についてお話していきます。

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

課題解決策事例集

課題 ❶

社内、部門間での
コミュニケーションが不足している

解決策

**コミュニケーションスペースや
ハイテーブルを人が集まる
オフィスの真ん中に設置する**

人が集まるオフィスの真ん中にフリースペースを作り、ランチやミーティング、リフレッシュをするスペースを設置するのがおすすめです。
実際に、導入をされた企業様の中でも、人が自然と集まる事で会話が生まれコミュニケーションが活性化した事例もございます。

気軽に立ち寄れるハイテーブルもおすすめです。
人の導線が多いところに設置するだけで、立ち止まって会話するなどの機会を創出することができます。また、近くにコーヒーメーカーなどを置くことで、何かを待つ時間でコミュニケーションをとることができます。

課題 ❷

コミュニケーションのきっかけづくりに
苦労している

解決策

コミュニケーション促進什器の導入

コミュニケーションの重要性は理解してるが、コミュニケーションをとるきっかけをどうやって作ればいいのかわからないという課題もございます。
その場合は、**コミュニケーション促進什器の導入**をお勧めします！

コミュニケーションをとるきっかけづくりとしておすすめなのが「5 TSUBO CAFE」です。人が集まる仕掛けづくりが豊富な什器になっています。「いい仕事は、いい雑談から」をコンセプトにしている「5 TSUBO CAFE」は、従業員同士の雑談を促すオフィスコミュニケーションスポットです。

オフィスになじむ木目デザインに、要望に合わせてカスタマイズできるユニットで、オフィスに合わせたコーディネートが可能です。

その他にもリモートとオフィスをつなぐサイネージサービスも提供しております。週に一度**様々な種類、ニュースを配信。また、社内で投稿もでき**、社内報を掲載するなど可能なため、他部署の方との会話のきっかけを作ることができます！

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

課題解決策事例集

課題 ❸

リフレッシュエリアが利用されにくい

解決策

リフレッシュだけに用途を絞らない

リフレッシュエリアを導入していない企業様だとどうしてもリフレッシュエリアの使用方法などに迷われることもあります。さぼっていると思われるのではないか心配でなんとなく行きづらいなど、そんな時は、電子黒板・モニター・ホワイトボードなどの会議ツールを置き**社内打合せの要素を高めて、フリーエリアを使う事に慣れて貰うことが効果的**です！またリフレッシュエリアを設置する場所も重要です。人の目が気になる場合には執務室とは別の場所に設置するなどして、利用率を上げましょう。

中央のスペースにフリー席や、カフェスペースとして、レンジなどの機器を設置しています。

リフレッシュエリアの近い席だと、雑談などが気になってしまったり、業務をするのは…と気が引けてしまうこともあります。そんな時は閉鎖的な空間を作るのではなく、ガラスやグリーンを置くことで、人の気配感が分かるようするのも効果的です。

課題 ❹

フロアに多数の部署が混在する場合の部署間コミュニケーション不足

解決策

マグネットスペースを設置

オフィスフロアに様々な部署が混在している場合は、なかなか話す機会も生まれません。そんな時は、**人が集まれるようなマグネットスペースを作るのがお勧め**です。
オフィスの中央に複合機やフリースペース、カフェスペース、スタンディングMTGスペースなどを作ることによって、**人が交差する場所を作る**ことができます。

誰が座ってもいいフリースペースを設けることで、座った人同士で会話が生まれます！

前のページで紹介した 5 TSUBO CAFEではコーヒーや新聞などを置くと自然と人が集まる場所になります。また、1年に4回お届けする季節の飾付（無償）を飾っていただくだけで、季節を感じられ、コミュニケーションのきっかけをつくります！

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

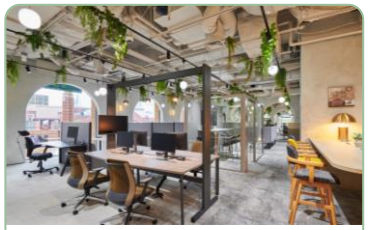
課題解決策事例集

課題 ❺

固定席の時に比べて、部門内や役職を超えたコミュニケーション量が減ってしまい、コミュニケーション活性化につながらないのではないか

フリーアドレスを実際に導入するには、コミュニケーション面でも不安や不明点などがあると思います。まずは段階的に**フリーアドレスにしていく**こともポイントです。
他にもポイントとなる点はゾーニングです。ただ座席をフリーアドレスにするだけでは、うまくいきません。プラスが提案する、オフィス作りの「ピアレンス」では、**オフィスを3つのゾーニングに分ける**ことによって、業務内容と働きたい仲間を選び、座席を選ぶことができます。

静かに集中して仕事がしたい場合は「カームゾーン」でパネルで覆われた席や個室ブースなど。



チームで仕事がしたいときは、「チームゾーン」デスクが、自然と真ん中を向くような形をしているので、みんなで同じ方向を向き、一体感を高めることができます。

課題 ❻

誰がどこにいるか分からずコミュニケーションがとりづらい

フリーアドレスを導入した際の課題として挙げられるのが、誰がどこに座っているのか分からないという点です。その課題を解決するのが、**座席管理システム「Suwary」（スワリー）**です。スワリーでは、座席の予約は携帯やパソコン上で行えます。また、誰がどこに座っているのか、アプリ上から見ることができるため「●●さんが見つからない！」などの課題解決につながります。また、チームで予約し、集まって仕事をすることも可能です。

その他にも、座席を抽選で選ぶこともできるので、フリーアドレスの固定席化を防ぐこともできます。簡単に利用状況を確認することもできるので、どんな席が人気なのか、需要が高いのかを見ることもできます。
ご興味がありましたら、こちらをご覧ください。
（https://kagu.plus.co.jp/suwary/）

座席管理システム
Suwary
スワリー

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

最後に

ここまで様々なコミュニケーションについての課題と解決方法をお伝えしてきました。

課題解決をする方法も簡単なものから、オフィスのレイアウトを変更するものまで、

様々な方法がありますが、雑談が生産性や、モチベーションの向上につながることは間違いありません。

現在、オフィスは仕事をするためだけの場所から変わりつつあります。

コミュニケーションがある会社とない会社では、様々な面で差が生まれます。

皆様のオフィスが本資料をきっかけに、少しでも過ごしやすいオフィスになりましたら幸いです。

プラスでは働き方のヒントになるようなコンテンツや、実際の働き方をお見せすることも可能です。

何かお困りごとや、相談事がありましたら、プラスにご連絡いただければ幸いです。

働き方の工夫などは実際にオフィスでご覧いただけますので、

是非、オフィスツアーにご参加ください。

Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.

PLUS Furniture Company

https://kagu.plus.co.jp/

働き方のヒントを探すオフィス見学

プラス　オフィス見学

※ 無断転載、再配布、編集を禁止します。
Copyright PLUS Corporation. All rights reserved.